

第37回テニス日本リーグ 男女ともに準優勝!



後列左から小関みちか、森崎可南子、松田美咲、小林ほの香、小畑沙織コーチ。前列左から吉田友佳総監督、瀬間詠里花、岡村恭香、坂詰姫野、小堀桃子



後列左から杉山記一監督、伊藤竜馬、中川直樹、増田健太郎コーチ。前列左からリー・ゼ、田沼諒太、吉村大生、河内一真、川上倫平

2月17日(金)～19日(日)、東京体育館にて『第37回テニス日本リーグ』が開催されました。12月の1stステージ、1月の2ndステージにて行われたリーグ戦にて、好成績を収めた男子8、女子6チームが進出できる決勝トーナメント。橋本総業ホールディングスは、男女ともに準優勝という成績となった。

決勝は、女子島津製作所、男子は昨年と同様のイカイとの対戦に。

女子は小堀桃子のシングルス敗退後、エース対決では昨年の全日本選手権優勝の坂詰姫野が登場。第1セットは躍動感あふれるプレーで奪い、第2セットは相手の本玉真唯が取り返す。ファイナルセットのマッチタイブレークでは、5-3でリードしたが、6-6から相手の4ポイント連取で惜しく

も敗退した。

それでも、ダブルスでは瀬間詠里花／岡村恭香が、全日本選手権優勝経験のある桑田寛子／大前綾希子に、意地の勝利を見せて、今シーズンの日本リーグを終えた。

男子は、リー・ゼがイカイのタイソン・キアットコウスキと接戦を演じ、第1、第2セットともにサービスゲームをわずかに1ブレークのみで敗退する。エースの中川直樹は、東京体育館の特殊なサーフェスの影響もあってか、ストレートで徳田廉大に敗れる。勝敗が決したため、ダブルスは1セットのみとなり、河内一真／伊藤竜馬が戦った。

今回、決勝で破れたが、スコアが語る以上に僅差だったといえる。来年度のアベック優勝を目指し、選手たちは再びツアーでさらに成長すべく、努力を積む。

ラリーの1本1本に歓声が沸く。コートにいる選手も、いない選手もこの日はチームの勝利をひたすら願い、一体となる。

テニス日本リーグは、実業団チームによる団体戦だ。1986年に第1回大会が行われ、2020年にコロナ禍による一度の中止はあれど、37回の開催を数える。

参加するには実業団対抗都道府県大会、地域大会を経て全国実業団に進出、この上位チームが日本リーグへの参戦を許されるという、最初の道のりとしては長い戦いだ。

橋本総業としては、女子は2013年シーズン、男子は2017年シーズンより最高峰である日本リーグへ進出している。

シングルス2本、ダブルス1本の合計3本で争われる今大会は、シングルス2、シングルス1、ダブルスの順で行う。特にエース対決となるシングルス1の対戦は、大きな鍵を握る。

今年は女子が坂詰姫野、男子は中川直樹がその重責を担った。決勝は敗退したものの、チームの決勝進出に貢献した。

日本リーグは、日頃個人で戦っている選手たちが、チームとして戦う、唯一の環境だ。そして、客席からの大きな歓声を受けられる、特別な場所でもある。自らの勝敗が、チームの勝利をも左右する緊張感の中でのプレーだ。

だからこそ絶対的な自信を持ってコートに立つことが必要だ。吉田友佳総監督は、「タフな戦いの中、女子のエース対決においては、やはり相手との経験の差で違いがあった。グランドスラム予選出場や、本戦へと上がるくらい、本当の意味で強くなれないと、ここでは勝てない。一人だけではなく、チーム全員がその場所で戦うという気持ちを持って、また1年かけて鍛えていきたい」と語った。

杉山記一男子監督も「それぞれが個人戦でレベルを上げ、絶対に勝てるチームを作っていく」と意気込みを述べる。

選手たちは試合後、応援に足を運んでくれたサポーターの皆さんと、影で支えてくれたスタッフたちへ、口々に感謝の気持ちを述べた。

今年度の敗退は、新しい未来を作る第一歩だ。チームHATの戦いはすでに始まっている。

思いがひとつにな ～個の戦いから「集合体」へ。プロが挑

女子結果

2月17日(金) 準々決勝

橋本総業ホールディングス	3-0	九州電力
S1	坂詰姫野 6-3 6-1	宮原三奈
S2	小堀桃子 6-2 6-1	今村凧沙
D	瀬間詠里花/岡村恭香 6-2 6-0	松本紗也/安田幸穂

2月18日(土) 準決勝

橋本総業ホールディングス	3-0	ノアインドアステージ
S1	坂詰姫野 6-3 6-3	上田らむ
S2	小堀桃子 6-0 6-3	松田鈴子
D	瀬間詠里花/岡村恭香 6-1 6-1	中塚桃子/横山菜里

2月19日(日) 決勝

橋本総業ホールディングス	1-2	島津製作所
S1	坂詰姫野 6-3 0-6 6-10	本玉真唯
S2	小堀桃子 1-6 3-6	加治遥
D	瀬間詠里花/岡村恭香 6-4 6-4	桑田寛子/大前綾希子



最優秀選手賞

岡村 恭香 / 瀬間 詠里花

Kyoka Okamura / Erika Sema



女子表彰選手として、ファイナルステージで全勝という結果を残した、瀬間詠里花、岡村恭香が、最優秀選手賞に選ばれた

優秀選手賞

中川 直樹

Naoki Nakagawa



1stステージ、2ndステージ、そして決勝トーナメントにおいて、好成績を収めた中川直樹には、優秀選手賞が授与された

る時

唯一の団体戦日本リーグの魅力～

男子結果

2月17日(金) 準々決勝

橋本総業ホールディングス	2-1	伊予銀行
S1 中川直樹	7-5 6-2	片山翔
S2 リー・ゼ	6-3 7-5	楠原悠介
D 伊藤竜馬 / 河内一真	6-7(1) 4-4 Ret	河野優平 / 中川舜祐

2月18日(土) 準決勝

橋本総業ホールディングス	3-0	ノアインドアステージ
S1 中川直樹	7-6(4) 6-3	市川泰誠
S2 リー・ゼ	6-7(7) 6-3 10-3	原崎朝陽
D 伊藤竜馬 / 河内一真	5-7 6-3 10-6	渡邊聖太 / 坂井勇仁

2月19日(日) 決勝

橋本総業ホールディングス	0-2	イカイ
S1 中川直樹	2-6 5-7	徳田廉大
S2 リー・ゼ	4-6 5-7	タイソン・キアットコウスキ
D 伊藤竜馬 / 河内一真	6-7 (5) 打ち切り	マクラ克蘭勉 / 袖木武



橋本会長のコメント



橋本 政昭 会長
Masaaki Hashimoto

来年は若い選手たちにもチャンスを与えたい

「実業団は絶対負けれない試合をしなくてはなりません。ですから個人のツアーと並行して緊張感のあるチームで戦うことは、選手として絶対に必要な経験になっていきます。今は、他チームなら必ず出られるレベル

の選手が、試合に出らない状況なので、来年はBチームを作って、若い選手にもチャンスを与えたいと考えています。今後は、全体としても横の広さ（選手層）だけではなく、縦の深さ（選手育成）を考えたチーム作りをしていきます」

出場選手のコメント

中川 直樹

Naoki Nakagawa

昨年に続き決勝で負けてしまったので、悔しい思いでいっぱいです。この大会は、いつもサポートしてくださる皆さんに、恩返しできる唯一の舞台だと思っているので、来年こそ、皆さんに優勝をお届けできるよう、決勝で自信を持って戦えるものを備えていきたいと思っています。



坂詰 姫野

Himeno Sakatsume

今回の日本リーグで、攻撃力の精度がまだまだ足りないということがわかりました。基本的な全てのレベルを上げること。しっかり修正し、グランドスラムの予選に出られるよう頑張りたいです。また、試合に出られないチームメイトには、サポートしてくれて感謝しています。



リー・ゼ

Li Zhe

中国人の私が、日本の企業の一員としてこの大会に出られることを誇りに思っています。そして、橋本会長には私が出場できるよう、サポートしてくださったことを心より感謝しています。橋本総業ホールディングスは、私にとって日本の家族のような存在です。

小堀 桃子

Momoko Kobori

最初の試合で勝てず、良い流れが作れなかったのは残念でした。決勝でもしっかり結果を残せる選手になるよう、今後も努力していきます。1stステージからファイナルまで、また、兵庫にもいらしていただき、応援してくださった皆さんには、感謝しかありません。



伊藤 竜馬 / 河内 一真

Tatsuma Ito / Kazuma Kawachi

自分自身がシングルスでも戦えるくらいレベルを上げていきたいです（河内）。日本リーグは、ダブルスが強くなるとシングルの心の負担が減るので、まずは、安心して取れるダブルスを作っていくことが、チームにとって一番の課題だと感じています（伊藤）。



瀬間 詠里花 / 岡村 恭香

Erika Sema / kyoka Okamura

チームキャプテンとしては、結果は残念でしたが、今回の反省を、日々のツアーに生かします。私が努力している姿をしっかりと見せていきたいです（瀬間）。私自身が、テニスの面でも、精神的にも、チームの支柱になれる選手になっていきたいと思っています（岡村）。



岡村 恭香

kyoka Okamura

1月30日～2月5日
コロンビアのWTA125で
ダブルス準優勝

なかなか結果が出せずにもどかしい思いをしていましたが、ダブルスで準優勝することができました。応援してくださる皆さん、ありがとうございます。

WTA125
DOUBLES
準優勝



松田 美咲

Misaki Matsuda

2月27日～3月5日
インドのW25(ITF)で
シングルス初優勝

やっとやっとシングルス初タイトルを獲得しました！いつも温かい応援やサポートありがとうございます。これからもうぞよろしくお願いします。

W25
SINGLES
初優勝